

一般社団法人全国信用金庫協会 第143回通常総会における
佐藤会長の挨拶要旨

日 時：平成31年2月21日（木）
13時～
場 所：信用金庫会館京橋別館
3階 大会議室

（経済情勢）

わが国経済は、数字のうえでは緩やかな回復が続いておりますが、肌で感じる足元の景況感は地域によって温度差が広がっており、地方では景気回復を実感できないという声が多く聞かれます。

とりわけ小規模の事業者の多くは、売上不振、原材料費や燃料費の上昇といった要因のほか、経営者の高齢化や後継者難、慢性的な人手不足といった構造的な問題が一段と深刻化しており、この先の業況回復に向けた展望がなかなか開けないというのが実情であります。

また、信用金庫の経営環境は、地域の人口や中小企業数の減少に伴い事業基盤が縮小していることに加え、長引く超低金利政策のもとで預貸金利鞘や有価証券運用益を中心とした利益の確保が一段と困難になっております。

しかし、このような厳しい情勢にあるからこそ、私ども信用金庫は、“協同組織の地域金融機関”としての原点を踏まえ、“地域のために存在し、地域を守る”という確固たる信念のもと、経営基盤の一層の強化に努め、地域が抱えているさまざまな課題と真摯に向き合い、金融・非金融の両面で地域経済・社会を支えていかなければならないと考えております。

（業界の課題）

そこで、改めて、業界が重点的に取り組むべき課題について、いくつか申し述べたいと存じます。

1点目は、「地域の課題解決のための経営基盤の強化」であります。

地域の活性化に貢献していくためには、経営基盤をより強固なものとするべく、地域密着・課題解決の推進と業界の全国ネットワークの活用を軸として、将来にわたり持続可能なビジネスモデルを構築していくことが何より肝要であります。

具体的には、まず、業界のネットワークを活かして事務・システムの共同化を推進し、経営の効率化を図る必要がありますが、この点につきましては、昨年来、全信協にプロジェクトチームを設置し、業界関連組織と連携して検討を進めており、3月には、報告書を取りまとめたいと考えております。

また、これまで以上に地方創生・地域活性化に積極的に取り組み、それを通じて収益力の向上を図るという観点から、全信協では、各地域のニーズを踏まえた業務の拡大方策について、今後検討してまいりたいと考えております。

これらと併せまして、複数の信用金庫による強固な業務提携の手法を模索することも、検討課題の一つと考えております。

2点目は、「社会の変革を踏まえた支援力の強化」であります。

昨今、金融分野におきましても、フィンテック企業など新たな事業者の参入によって、サービスの領域が広がりつつありますが、今後、信用金庫業界といたしましても、オープンAPIを活用した非金融事業者との連携をはじめ、人工知能やビッグデータの活用など、フィンテックを取り込んだ新しいサービスの可能性を追求し、お客さまから寄せられるさまざまなニーズに応えるための支援力を強化していく必要があります。

また、官民一体となったキャッシュレス化の動きも加速しており、決済サービスにおける利便性の向上を図るため、業態の枠組みを超えた新たな形態の連携を強化し、地域経済の活性化に貢献していかなければなりません。

その一方で、社会の変革が進むなか、本格的な高齢社会を迎えており、地域社会と密接な関わりを持つ信用金庫といたしましては、お客さま本位の視点に立ったサービスの提供に努め、地域の皆さまが安心・安全に暮らすことのできる社会づくりにも積極的に関わっていく必要があります。

3点目は、「経営管理体制の充実・強化」であります。

信用金庫が、地域のお客さまから信頼され、安心・安全なサービスを安定的に提供していくためには、経営トップ主導のもと、すべての役職員が法令等遵守、利用者保護を常に念頭に置いて、経営管理体制をより一層充実・強化し、各種リスクへの対応力を高めていく必要があります。

これまでも業界では、反社会的勢力との関係遮断、特殊詐欺などの金融犯罪防止に向けた取り組みを進めてまいりましたが、本年は特に、国際的な課題となっているマネロン・テロ資金供与対策やサイバーセキュリティ対策について、より一層の対応強化を図る必要があります。

4点目は、「積極的な広報と人材の確保」であります。

時代や環境がいかに変わろうとも、信用金庫が地域のために存在するという
ことには変わりはありませんが、そのためには、継続的かつ安定した人材の確保が必
須であり、とりわけ就活生に信用金庫で働くことの魅力や、やりがいを感じても
らえることが重要であると考えております。

そうした観点から、全信協といたしましては、業界のイメージキャラクターで
ある咲坂実杏さんの登用や日本スケート連盟への協賛を含め、多様なメディアを
活用した信用金庫の広報に力を入れ、若年層に向けた信用金庫ブランドのアピー
ルに努めるとともに、喜びや働きがいのある職場環境づくりを積極的に支援して
まいりたいと考えております。

以上、いろいろと申し述べましたが、全信協といたしましては、信金中央金庫、
地区協会をはじめとする業界関連組織との連携を一段と強化し、会員信用金庫の
ご期待にお応えできるよう努力してまいり所存でございます。

引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、開会のご挨拶
とさせていただきます。

以 上